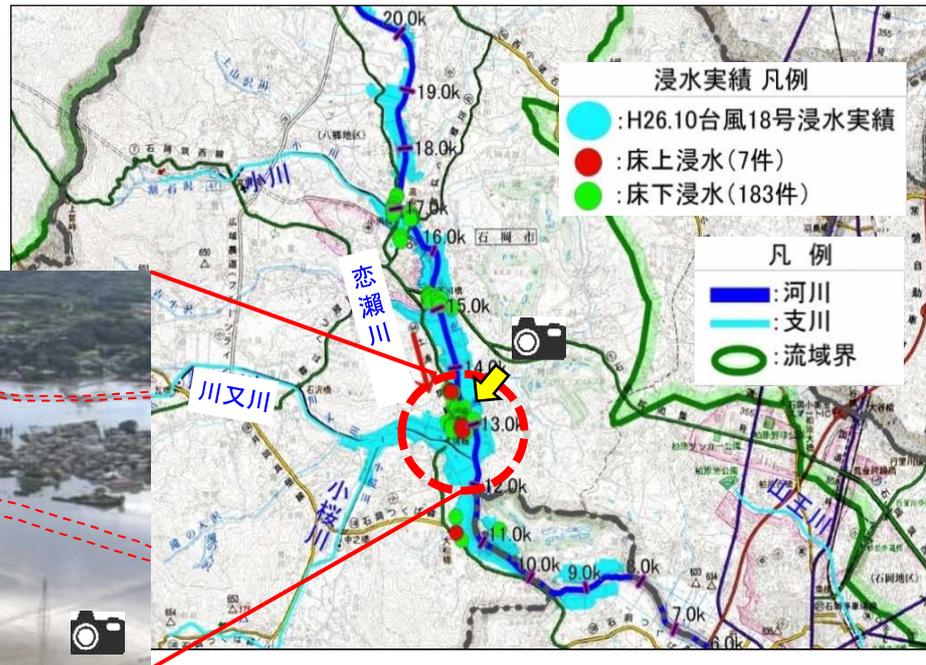
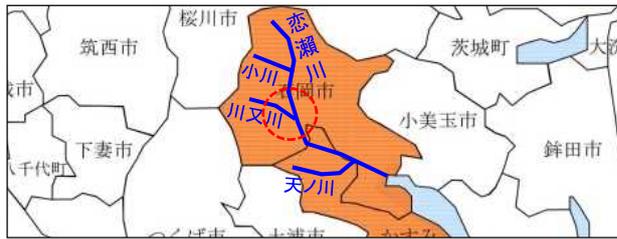


# 川の流れを阻害する区間の暫定掘削により家屋の浸水被害を早期に解消

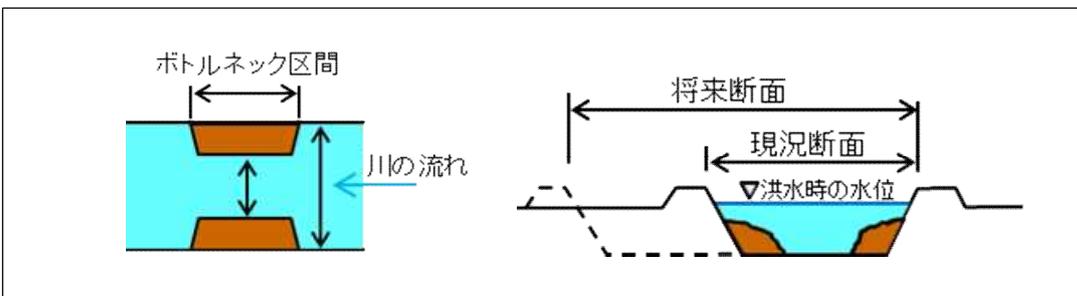
— 恋瀬川河川改修事業 (石岡市) 台風18号 (H26.10) を教訓に —



H26.10 台風18号の状況



- 恋瀬川では、平成26年10月の台風18号により、床上浸水7戸、床下浸水183戸の浸水被害が発生しました。
- そこで、即効性のある暫定整備として、川の流れを阻害する**ボトルネック区間**（上下流に比べて河川の断面が小さい区間）を先行して掘削することにより、効果的な浸水被害の軽減を図っています。



暫定掘削のイメージ

左図: 平面図

右図: 横断面図

■ : 暫定掘削箇所

掘削前



掘削後



## ボトルネック区間の解消により、浸水被害の軽減に寄与！

- ボトルネック区間の先行掘削により、河川の断面が約1.7倍になり、洪水時に最大約1mの水位低下が見込まれます。
- 計画規模の洪水（おおむね10年に1回程度）に対しては、床上・床下浸水ともに解消されます。